

緩和ケア講演会

記



日時： 平成29年11月1日（水） 18:00～20:00

場所： 島根県立中央病院 2階 大研修室

〒693-8555 島根県出雲市姫原4丁目1番地

17:45 - 17:55 製品紹介 『 スインプロイク錠 』 塩野義製薬株式会社

座長 島根県立中央病院 総合診療科 部長 緩和ケアチーム リーダー

入退院支援・地域医療連携センター長補佐

今田 敏宏 先生

18:00 - 18:30 一般講演

演題 『 この患者さん、帰れますか？ ～在宅医療の現場から～ 』

演者 豆の木在宅診療所 院長

美川 達郎 先生

18:30 - 20:00 特別講演

演題 『 最近の緩和ケアのエビデンスをどう臨床に活かすか？ 』

演者 聖隷三方原病院 副院長 緩和支援診療科 森田 達也 先生

ご講演内容について

最近の緩和ケア領域では臨床試験が盛んである。特に、「これまでの教科書の記述をくつがえすような」知見が得られることが多い。本発表では最近の臨床研究の知見をどう臨床に生かすのかを示したい。まず、なんといっても頻度の高い疼痛と呼吸困難について、治療のオーバービューが分かるように個々の臨床研究の意義を検討する。次にこの数年の目を引く研究として、例えば、せん妄に対して抗精神病薬が無効だった試験、オキシコドンの開始時に制吐剤の予防投与は効果がなかった試験などをとりあげて意義を解釈したい。予後予測や死亡直前期の研究に進歩が見られたので現場の視点から紹介する。ナルデメジンの上市をうけオピオイド誘発性便秘症(OIC)にもふれたい。



主催： 塩野義製薬株式会社 後援： 島根県立中央病院

緩和ケア講演会 アクセスMAP

日時： 平成29年11月1日（水） 18:00～20:00

場所： 島根県立中央病院 2階 大研修室

〒693-8555 島根県出雲市姫原4丁目1番地

